『数学オリンピック幾何への挑戦』第 1 版 正誤表

以下の箇所に誤りがありました. お詫びして訂正します.

第1刷

- 1. p.2 訳注 4 : 「4, 訳書 pp.32」 → 「4, 訳書 pp.32, 40」
- 2. p.173 4–5 行目 : $\lceil x+y+z=1 \rceil$ であることが重要である」 \longrightarrow 「重心座標は成分の和が 1 になるように正規化せねばならず、このとき変位ベクトルの成分の和はつねに 0 になる」(著者訂正)
- 3. p.198 問 7.32 :「A 傍接円と BC」 \longrightarrow 「A 傍接円と辺 BC」
- 4. p.207 脚注 :「等角写像であり」 \longrightarrow 「等角写像であり」(カタカナの「リ」を修正)
- 5. p.226 最終行 : 「成り立つ」 → 「が成り立つ」

第2刷

- 1. p.71 補題 3.9 のすぐ上:「をが得られる」 \longrightarrow 「が得られる」
- 2. p.85 命題 4.1 のすぐ上:「いくつかを」 \longrightarrow 「いくつか」
- 3. p.96 問題 4.32:「直線 BMK」 \longrightarrow 「三角形 BMK」
- 4. p.114 11 行目 : 「挙げられる」 → 「挙げられる.」
- 5. p.154 (数式を含めて) 7 行目 :「 $\overline{p_1'}p_2'$ と $p_2'\overline{p_1'}$ 」 \longrightarrow 「 $\overline{p_1'}p_2'$ と $p_1'\overline{p_2'}$ 」
- 6. p.208 1 行目 :「倍率 r^2 相似拡大」 \longrightarrow 「倍率 r^2 の相似拡大」
- 7. p.236 定理 9.2 1 行目:「それらが通る円上」 → 「それらを通る円上」
- 8. p.236 訳注 34 2 行目:「(PA, PB, PX, PY)」 \longrightarrow 「(PA, PB; PX, PY)」
- 9. p.238 問 9.6 : 「それらが通る直線上」 \longrightarrow 「それらを通る直線上」
- 10. p.286 問 10.30 4 行目: $\lceil A_1, A_2, A_3 \rfloor \longrightarrow \lceil A_1, B_1, C_1 \rfloor$
- 11. p.155 例 6.26 の解答の直後: 「D が弧 AB の中点」 → 「D が弧 BC の中点」(著者訂正)
- 12. p.9 例 1.1:「四角形 WXYZ」 \longrightarrow 「凸四角形 WXYZ」(著者訂正)
- 13. p.193 最後の別行立て数式:「 $S_{AC}-S_{BC}$ 」 \longrightarrow 「 $S_{CA}-S_{BC}$ 」(分数の分子にあたる部分)(著者訂正)
- 14. p.309 ヒント 255:「A を中心として」 \longrightarrow 「C を中心として」(著者訂正)
- 15. p.45 定理 2.9: $\lceil \omega_1 \rfloor$ 上の相異なる 2 点 A, B と, $\omega_2 \rfloor$ 上の相異なる 2 点 C, D \longrightarrow $\lceil \omega_1 \rfloor$ 上にありかつ $\omega_2 \rfloor$ 上にない相異なる 2 点 A, B と, $\omega_2 \rfloor$ 上にない相異なる 2 点 C, D \bigcup (著者訂正)
- 16. p.146 補題 6.23 の直前:「 $b = w^2$, $c = v^2$ 」 \longrightarrow 「 $b = v^2$, $c = w^2$ 」(著者訂正)
- 17. p.258 網掛けの部分:「三角形 ABC」 \longrightarrow 「I を内心とする三角形 ABC」(著者訂正)
- 18. p.187 8 行目:「直線 DE と EF がチェバ線にならない」 —> 「直線 DE と直線 EF がチェバ線にならない」

以上